

租税の転嫁と帰着

http://www.econ.hit-u.ac.jp/~bessho/lecture/07/pubeco_s.html

「公共経済学」後期第6回
別所俊一郎

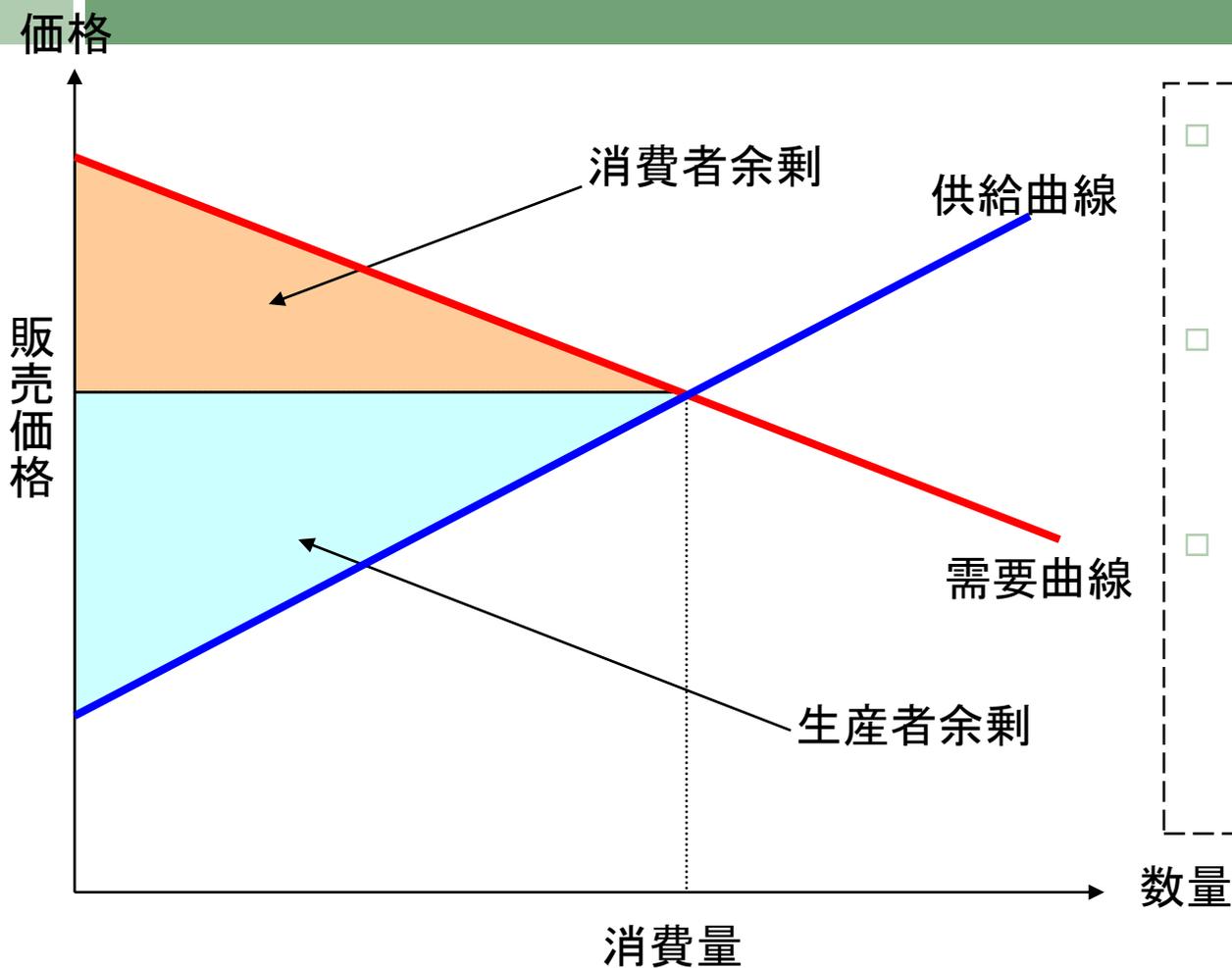
税の[]と[]

- 租税の[]
 - 租税によって経済的に損失を負うこと, 効用が減少すること.
- 租税の[]
 - []が租税負担を他の人に負わせること
- 租税の[]
 - 租税負担の最終的な帰属のこと
- 租税の実際の[]は, 意図された[]と異なるかも
 - 社会保険料の雇用主負担や法人税
- 税制の[]と[]
 - 帰着が分かりやすい税が望ましい
 - 実際にどのように帰着しているかはなかなか難しい

転嫁のいろいろ

- []: 売り手から買い手に租税負担を転嫁すること
- []: 買い手から売り手に租税負担を転嫁すること
 - 社会保障の企業負担分が労働者に転嫁されるのは「
」
- []: 前転・後転が次々と起きること
- []: 生産性向上によって租税負担が生産過程で吸収されること
- []: 後転の一種。課税分が織り込まれて売
買される資産価格が下落すること。
 - [](capitalization)の一種。

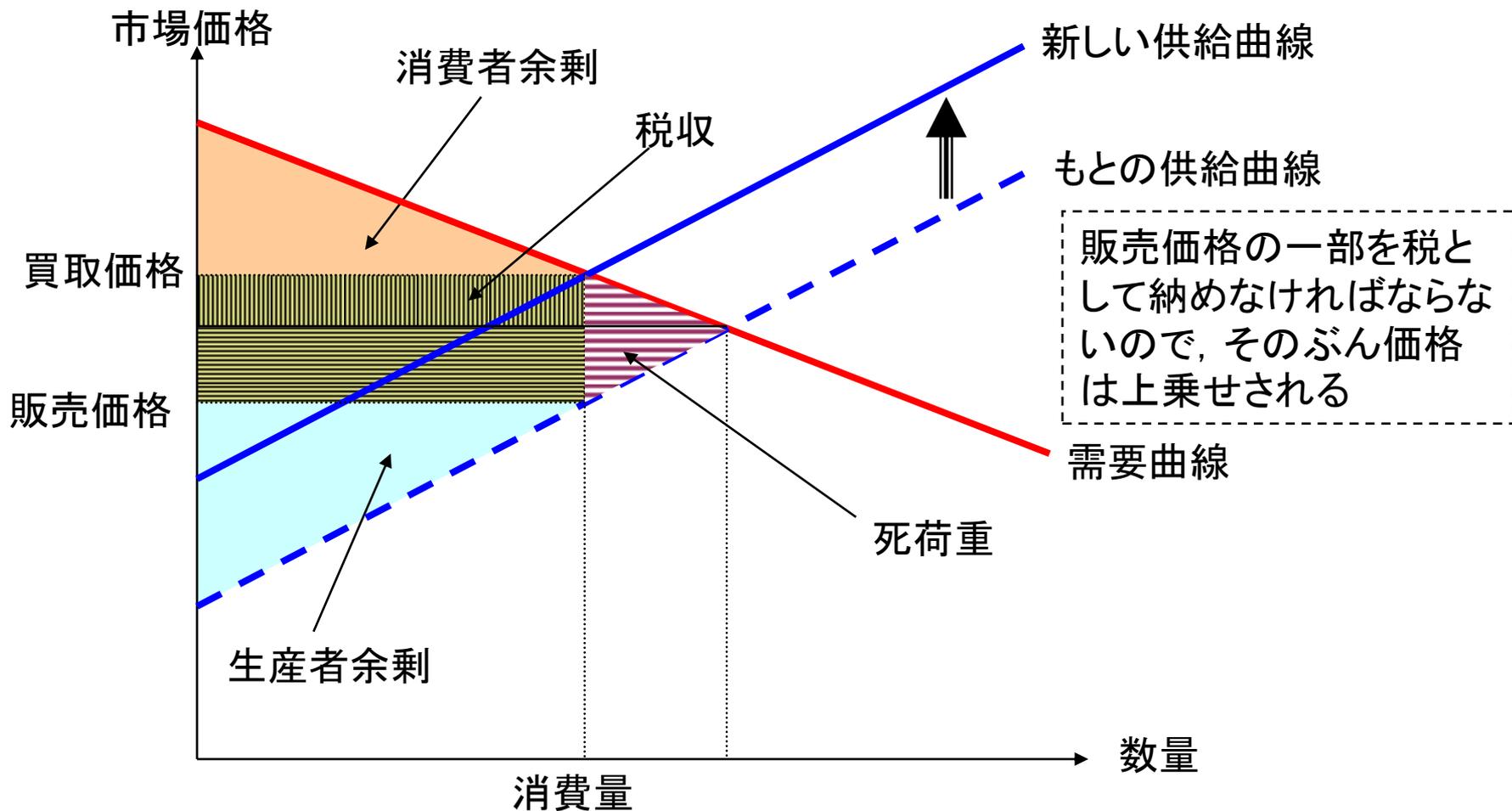
消費者余剰と生産者余剰(復習)



- 消費者余剰と生産者余剰の和を**総余剰**と呼ぶ。
- 簡単なケースでは、税がないときに総余剰が最大化される
- 余剰を足したものを基準に考えているので、個人の厚生を細かく見ているわけではない

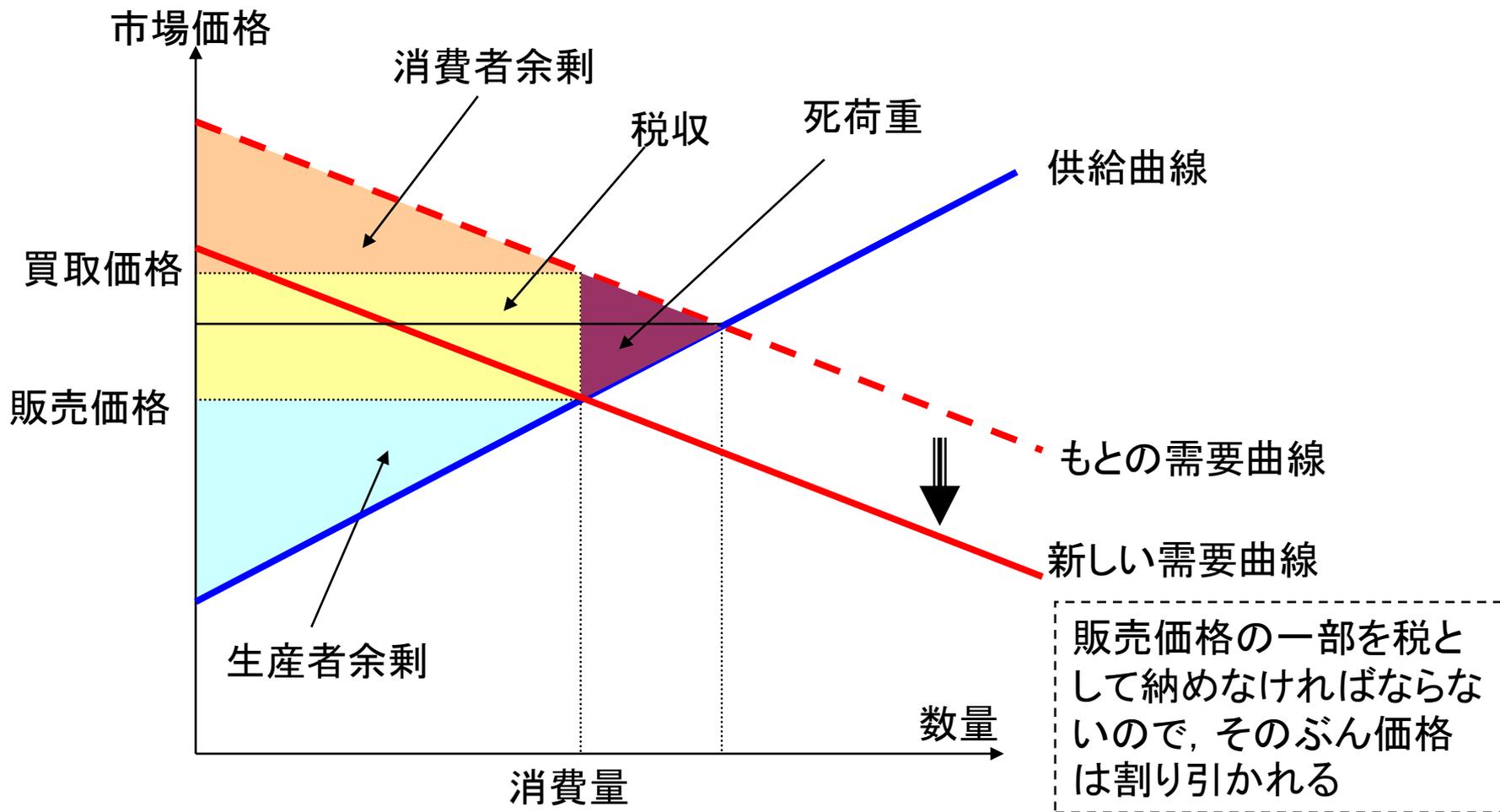
個別消費税の部分均衡分析

: 従量税・[]が納税義務者のケース



個別消費税の部分均衡分析

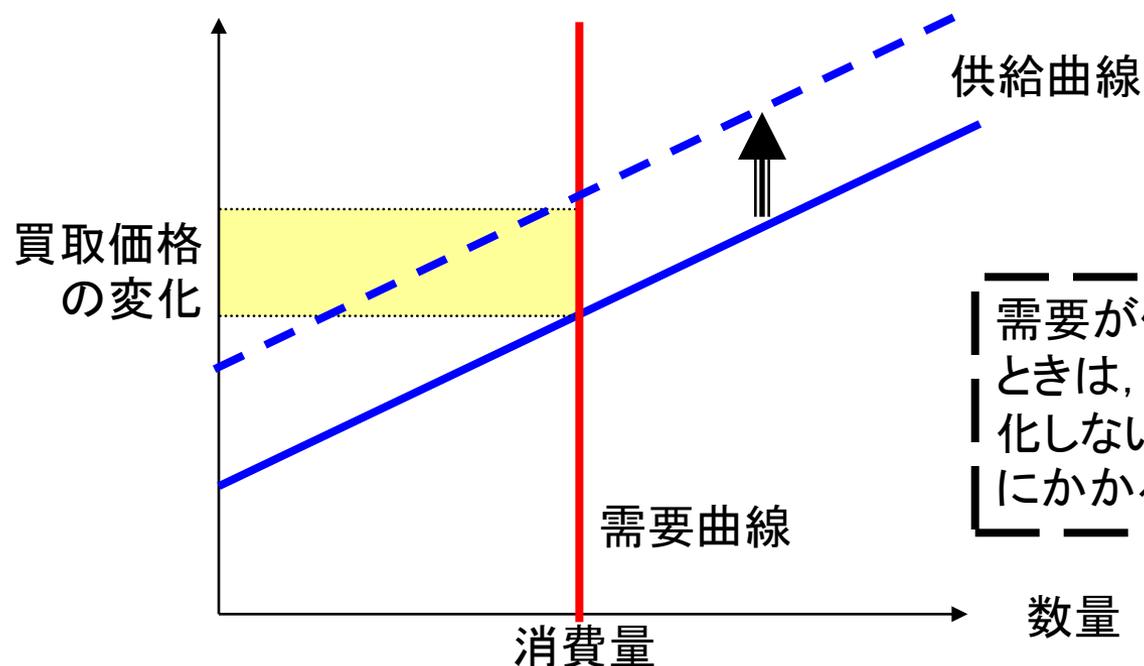
: 従量税・[]が納税義務者のケース



生産者が納税義務者のケースと全く同じであることに注意せよ!

需要・供給の弾力性と帰着

- 消費者の負担が大きくなるのは：
 - 需要曲線の傾きが[]: 需要の価格弾力性が[]
 - 供給曲線の傾きが[]: 供給の価格弾力性が[]
- 逆なら逆. 典型的な4つのパターンで確認しておこう!



需要が価格に対して完全に非弾力的なときは、価格が変化しても消費量が変化しないから、税金の全負担は消費者にかかる。

転嫁・帰着と価格弾力性

- 納税義務者によらず、課税後の需給量・税収・実質租税負担は同じ
- 供給の価格弾力性が無限大のとき
 - 供給曲線が水平. 租税負担はすべて消費者
 - 税率分だけ消費者価格が変化し, 厚生損失も大きい
- 供給の価格弾力性がゼロのとき
 - 供給曲線が垂直. 租税負担はすべて生産者
 - 消費者価格は変化せず, 厚生損失はゼロ
- 需要の価格弾力性が無限大のとき
 - 需要曲線が水平. 租税負担はすべて生産者
 - 税率分だけ消費者価格が変化し, 厚生損失も大きい
- 需要の価格弾力性がゼロのとき
 - 需要曲線が垂直. 租税負担はすべて消費者
 - 消費者価格は変化せず, 厚生損失はゼロ

生産要素への課税

- 労働
 - 雇用主への課税でも労働者への課税でも帰着は同じ
 - 社会保険料の[]は[]へも帰着
- 土地
 - 供給の弾力性は[]:税はすべて[]へ帰着
 - ただし, []の供給弾力性は高いかも
- 小国にとっての資本
 - 完全に弾力的:少しでも金利が低ければ海外逃避
 - 利子課税はすべて資本の[]に帰着(税引後利回りは変わらない)

完全競争でない場合の帰着

- 租税の帰着は市場の性質に決定的に依存
 - 完全競争 or 独占 or 寡占...
- 独占・寡占の場合
 - 需要曲線と供給曲線の「 π 」に依存
 - 転嫁が100%以上になることも
- 寡占の場合
 - 生産者は他の生産者と[π]に作用しあう
 - 他の生産者の行動にどのように反応するかについて広く受け入れられた唯一のパターンがあるわけではないので、租税の帰着について確定的に予測することはできない

[]な課税

- 同等な租税
 - 行政的な観点からは異なっても経済的な効果(帰着や価格の変化など)が同一の税
- []税と[]税(ともに比例税のとき)
 - 国民所得と国民生産は基本的に恒等的に等しい
- []税と[]税(ともに比例税のとき)
 - 利子所得が免税なら[]税は[]税と同等
 - 予算制約式を見れば明らか
- 各市場が、税以外では完全であるという仮定が必要
 - 生涯労働所得税と生涯消費税は、「遺産や贈与がなく」、[]であれば同等。

帰着にまつわるその他の要因

- 他市場の影響（[]効果）
 - 個人の消費の[]効果や所得効果、生産要素の資源制約を通じて、他市場に影響を及ぼす。
 - ある財に課税されたとき、ほかの財の消費も変わるかも
- 短期的効果、長期的効果
 - 需要曲線も供給曲線も長期ではより[]的かも
 - 貯蓄課税→貯蓄抑制→資本減少→労働需要減少→賃金下落という経路はかなりの時間的視野が必要
 - 動学的調整
- 関連する政策変化：政府の[]
 - 増税→[] or []